令和３年度　あけぼの支援学校

進路だより　No.2

文責　髙橋

令和３年７月１６日　発行　**あけぼの支援学校進路指導係**
http://www.akebonoy.kai.ed.jp

現場実習先を訪問して

校　長　小田切　一博

高等部の実習期間中、実習を訪問し生徒の皆さんが活動する様子を参観させていただきました。その折に、南アルプス市役所に勤務する本校を卒業された３名の先輩方からお話を聞く機会を得ることができました。　卒業後勤務してから、ご苦労されたこと、努力されたこと、仕事をする上で大切にしていることなどをお話ししていいただきました。皆さんお一人お一人が公務員としてのプライドを持ちながら仕事にあたられている姿に触れ、そのような多くの本校の卒業生がいることを大変誇りに思いました。仕事をする上で大切な視点として、相手の立場や気持ちを考えて行動すること、仕事を進める上で困ったことは相談できるコミュニケーション力を高めることの大切さが話されました。また、仕事だけではなく仕事以外の時間の楽しみを見つけること、いろいろな人とのつながりを持つことなどを伝えていただきました。

相手の立場や気持ちを考えることや、困ったことを聞くことができる力は、仕事だけではなく、これからの社会を生きていく上では最も重要な力です。学校での日頃の学習はもちろんのこと、児童生徒会活動、部活動、交流などは、友達や先生など人と人とのやりとりを通して学ぶことができる場です。充実した学校生活を送ることができるよう、共に取り組んでいきましょう。

第Ⅰ期現場実習を終えて

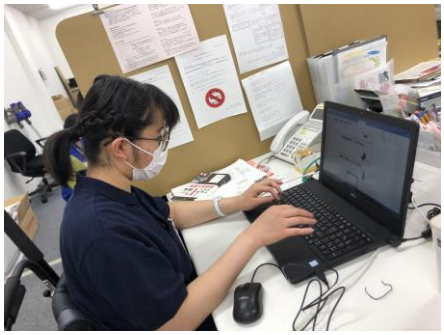
今号では５月２４日（月）～６月４日（金）に行われた令和３年度第Ⅰ期現場実習の様子をお伝えします。中には生徒本人が実習を振り返り、感じたことや気づいたことを書いたものもあります。是非、御一読いただき、実習の様子を少しでも知っていただければと思います。

また今期の実習におきましては、コロナ禍で人との接触が難しい状況でしたが、保護者の皆様、実習受け入れ先の皆様のご協力により無事、実習を行うことができましたこと、改めてお礼申し上げます。

１１月には、第Ⅱ期現場実習が予定されています。その際のコロナウイルスの感染状況、ワクチンの接種状況等がどのようになっているか分かりませんが、校外での実習を行う貴重な機会と捉え、安心して実施できるよう取り組んでいきたいと考えます。

第Ⅰ期現場実習の様子

南アルプス市役所，甲斐市役所，甲斐市立図書館支所 敷島図書館，韮崎市立大村記念図書館



「南アルプス市役所」では、主に封入作業をしました。実際に市民の方のもとに届くものだったので、とても緊張しましたがしっかりとやり遂げる事ができました。本校卒業生からの話を聞く機会もあり、とてもいい経験になりました。「甲斐市役所」では１日目、市役所内の見学をしました。様々な部署がある事が分かりました。２日目は「甲斐市立図書館支所の敷島図書館」に行きました。敷島図書館では、本の返却処理等をしました。これらの経験を日々の学習に生かしていきたいと思います。最後に「韮崎市立大村記念図書館」へ行きました。様々な作業をしましたが、なかでもフィルムコートというハサミを使った作業が大変でした。この課題を克服するために家や学校でもハサミの練習をしたいと思います。

ありがとう，南アルプス市社会福祉協議会

「ありがとう」では１日目、パンチで穴をあける、２日目は袋の底を広げる、３日目は塩を袋に入れる、４日目はふりかけを容器に入れる作業に取り組みました。１日目は緊張して疲れましたが、２日目以降はリラックスして作業できました。３日目の朝、始業前の待っている間に、利用者の方たちに声をかけていただき、UNO をして遊んで楽しかったです。「南アルプス市社会福祉協議会」では、主にテプラを使ってのラベル作成に取り組みました。１日目は緊張して疲れましたが、２日目以降は職員の方ともコミュニケーションを取ることができました。お昼にパン屋さんが来て、自分で好きなパンを買いました。
午前中に、職員さんからヤクルトをもらっていたので、御礼にパンをプレゼントすると、とても喜んで下さり、私も嬉しかったです。

KEIPE 甲府，SAKURA 山梨センター

今回の実習では、「KEIPE 甲府」と「SAKURA 山梨センター」にいきました。この二か所で学んだことは、メモを取ること、自分の思っていることをしっかりと相手に伝えることの大切さです。この二つのことは、学校生活や日常生活でも活かせることなので、これからは、この二つのことを意識して行動をしようと思いました。卒業まであと少しなので、今回、学んだことを忘れずに、将来に向けて準備をしていこうと思いました。今回、普段は出来ない体験ができて嬉しく思いました。第Ⅱ期現場実習でも、今回学んだことを活かして行きたいと思います。

おひさま，みどりの家，きぼうの家

「おひさま」「みどりの家」「きぼうの家」にて、それぞれ３日間の実習を行いました。どの実習先でも積極的に職員さんや他の利用者の方とコミュニケーションをとり、施設の雰囲気や流れに馴染むことができました。また、クッキーづくりやペットボトルのリサイクル作業なども体験し、仕事をすることへの意識を高めることができました。今回の実習では、これから進路を決めていく中、卒業後の生活に対するイメージをもつことや、学校での課題を再度考えることができました。学校生活も残り少なくなりましたが、実習を活かし、成長できるように頑張りたいと思います。

コスモス通所

「障がい福祉サービス事業所コスモス通所」に５日間実習に行きました。コスモス通所における実習は今回で３回目だったので、緊張しつつも施設職員の方のかかわりに笑顔や手の動きで応えることができました。午前中は主にレクリエーション活動（ボウリングや魚釣りゲーム等）、午後は創作活動（メモスタンド作りや感触あそび等）に参加しました。得意の左手の動きを活かして、積極的に参加することができました。また卒業後の生活を見据えて、施設職員の方の食事介助を受けながら、昼食をとる体験をしました。リラックスして美味しい昼食をいただくことができました。

きぼうの家

「きぼうの家」に２日間行きました。午前中の活動は風船バレーをしました。初めは緊張していましたがあけぼのの先輩が風船をパスしてくれたり、名前を呼んでくれたりすると笑顔が見られました。お昼前にはお口の体操をみんなで行ってからおいしい昼食をいただきました。午後は音楽療法が行われ、歌を歌ったり、鈴を鳴らしたりしました。２日目の午前は手芸、午後は絵画を行いました。先輩がビーズで作ったブレスレットをプレゼントしてくれました。笑顔あふれる充実した２日間でした。

コスモス，おひさま

「障がい福祉サービス事業所コスモス通所」「おひさま」にてそれぞれ３日間実習を行いました。コスモス通所では、オーバルボールや射的などのレクリエーション活動や手形の創作活動を行いました。おひさまでは、自己紹介ゲームやボッチャなどのレクリエーション活動や梅雨に向けての創作活動を行いました。ほかの利用者さんと同じ場所で多くの時間を一緒に活動をすることができました。また、その中でも笑顔が見え、楽しくリラックスして活動に取り組む姿もみられました。

ひだまり，みどりの家

「ひだまり」「みどりの家」で合計５日間の実習を行いました。ひだまりでは、午後のレクリエーション活動で、かくれんぼやこいのぼりの活動を行いました。みどりの家では、お散歩や借り物競争、チョコバナナ作りをし、楽しむことができました。みどりの家では、事業所の方にもたくさん話しかけてもらい、コミュニケーションをとることができました。実習最終日は笑顔も多くなり、ゆとりをもって活動することができました。

市川三郷町役場，ヤマト運輸山梨主管センター

「市川三郷町役場」では、電動ホチキスを使った資料綴じ、ミシン目に沿って紙を切る作業、パソコン入力、ハンコ押しなどを行いました。目標であった「自ら報告や質問する」ことができました。「ヤマト運輸山梨主管センター」では、発送伝票をエクセルのフォーマットに従って入力する仕事を一週間続けて行いました。同じ作業で疲れることもありましたが、集中して任された仕事を終えることができました。実習を通して、人と対応する力が大切であると知りました。今後、語彙を増やし、コミュニケーションの力を向上させていきたいです。

校内実習の様子

第Ⅰ期現場実習の期間中、学校の残った２，３年生と１年生は校内実習に取り組みました。毎年、北杜市にある「友の丘」様よりお貸しいただいているナゲットソースのフィルム剥がしを行いました。フィルムを剥がすだけの単純作業と思われがちですが、少しの取り残しもないように取り組まなければならないため細心の注意が必要です。かつ、限られた時間の中で沢山の量をこなさなければならず、作業経験の少ない１年生には大変だったかと思います。最終的にはお借りした分は全て作業完了、検品でき、友の丘様にお返しすることができました。第Ⅱ期では、１年生も校外での実習をすることになります。今回の経験が少しでも役立ち円滑な実習ができるよう願っています。